



誠実な企業であるために

社会に対して誠実であり続けたいと考え、
社会の一員として責任と社会的良識をもって行動します。

コーポレート・ガバナンス

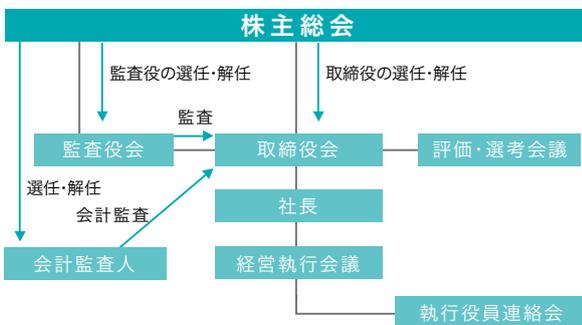
◎コーポレート・ガバナンスの取り組み

コスモ石油グループでは、経営理念および企業行動指針に基づき、すべてのステークホルダーの満足の最大化を図るために「経営の透明性・効率性の向上」「迅速な業務執行」「リスクマネジメントおよびコンプライアンスの徹底」を推進しています。

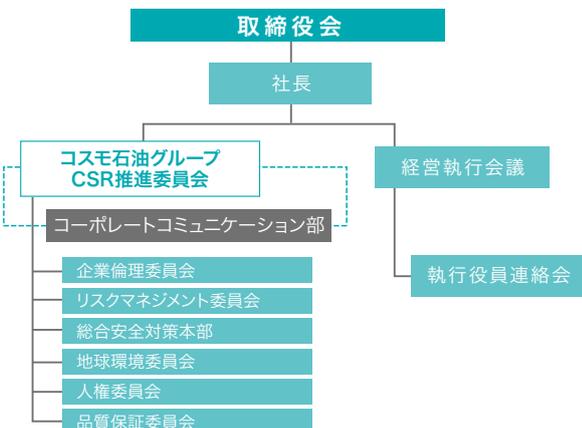
また、監査役制度を採用し、「取締役会」「経営執行会議」「評価・選考会議」を設置して、「経営上の意思決定、監督」と「職務の執行」「取締役業績評価」の3つの機能を分離しています。さらに監査役が取締役会などの重要な会議に出席することを通して経営監視機能の充実を図っています。

WEB▶ 詳細情報・アニュアルレポート「コーポレート・ガバナンス/CSR」(PDF)
http://www.cosmo-oil.co.jp/ir/annual/annual2009/pdf/annual2009_08.pdf

▶ ガバナンス体制図



▶ 内部統制体制図



内部統制に対する取り組み

コスモ石油グループでは、取締役および使用人の職務執行の体制、これを支えるためのリスクマネジメント・内部監査の体制、監査役による監査が実効的に行われることを確保するための体制を整備しています。

◎CSR推進委員会

社長直轄の組織である「CSR推進委員会」は、実行組織である6委員会「企業倫理委員会」「リスクマネジメント委員会」「総合安全対策本部」「地球環境委員会」「人権委員会」「品質保証委員会」を統括し、グループ全体のCSRおよび内部統制に関する活動を進めています。また、CSR推進連絡会を開催し、関係会社とCSR経営の情報共有化を図っています。

◎CSRに関する現状調査(社員意識調査)

CSR経営を推進するにあたり、改善点の洗い出しやこれまでの取り組みの効果を検証するため、前年度に続き2009年3月に、コスモ石油グループ20社の役員・社員を対象とした「CSRに関する現状調査」を実施しました。匿名での回答や外部機関による調査票の回収を行った結果、約97% (回答者数4,567人) という高い回答率となりました。外部の専門家による分析の結果、2008年度の重要取り組み事項であった「コスモ石油グループ企業行動指針」の理解度の向上についても大きな成果が得られたことがわかりました。調査の結果はCSR経営の一層の充実に向けた取り組みに活用していきます。

「コスモ石油グループ企業行動指針」の全面改訂

コスモ石油グループは、2008年10月にCSR経営の重要な指針である「コスモ石油グループ企業行動指針」を全面改訂しました。経営理念の実現に向けて取り組むべきテーマを整理し、社会の新たな要請を反映させた項目を追加したほか、社員一人ひとりが日々の業務においてCSR経営を実践していくことができる内容としています。



WEB▶ 詳細情報・コスモ石油グループ企業行動指針
<http://www.cosmo-oil.co.jp/company/guideline.html>

コンプライアンスの推進

● 企業倫理推進体制

コスモ石油グループでは、企業倫理に関する基本方針の決定、推進、実施および確認を行う機関として「企業倫理委員会(委員長：総務部担当役員)」を設置しています。また、製油所におけるコンプライアンスの徹底を図るため、企業倫理委員会の下部組織として、各製油所に「製油所コンプライアンス委員会(委員長：製油所長)」を設置しています。さらに、企業倫理委員会の運営を補佐するため「コスモ石油グループ企業倫理推進室」を設置し、同推進室内に「コスモ石油グループ企業倫理相談窓口(ヘルプライン)」を開設しています。

▶ 企業倫理推進体制図



● 「企業倫理相談窓口(ヘルプライン)」の設置

社内外からグループ内の業務などに関する法令や倫理上の問題を相談、通報できる窓口を設置しています。窓口は社内の企業倫理推進室内に加えて、外部専門家への相談窓口も設置し、相談者の不利益にならないよう匿名性を確保しています。2008年度は2件の相談を受け付け、迅速に対応しました。また、人事部門内にはセクシュアルハラスメント・パワーハラスメントに関する相談窓口も設置しています。

● 企業倫理研修の実施

コスモ石油グループ社員を対象に、毎年、企業倫理研修を実施しています。人事階層別の研修に加え、部室長・事業所長・グループ会社社長主催の研修も行っています。2008年度の研修では全面改訂された「コスモ石油グループ企業行動指針」について確認するなど、コンプライアンス意識の浸透を図りました。



企業倫理研修

WEB 詳細情報・企業倫理研修の実績
<http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/management/compliance.html#seminars>

リスクマネジメント体制

コスモ石油グループでは、リスクマネジメント委員会を設置し、①リスクの洗い出し、②整理、③対策検討、④実施、⑤モニタリング評価のサイクルを全社で実施しています。2008年度は社会機能の維持に関わる事業者として、首都圏直下型地震対策および新型インフルエンザ対策を重点テーマに取り上げました。なお、個別リスクに関しては各実行委員会や各業務ラインで対応および検討を行っています。

● 首都圏直下型地震と新型インフルエンザへの対策

首都圏直下型地震の対策として、2008年4月に東京湾北部におけるマグニチュード7.3以上の地震を想定した、第2回目のリアルタイムシミュレーション訓練を実施しました。この訓練の成果と反省を踏まえ、2009年度以降も継続して総合BCP訓練を実施していく予定です。

また、新型インフルエンザ対策として、2007年7月に「新型インフルエンザ対策に関する行動計画書」を策定したほか、基本マニュアル・従業員ガイド・部門マニュアルを含むBCPの策定(2009年度内早期完成予定)や在宅勤務システムの導入などに取り組んでいます。



第2回リアルタイムシミュレーション訓練

新型インフルエンザ対策本部の設置

2009年4月にアメリカ・メキシコで発生が確認され、その後世界各国へ拡大した「豚由来インフルエンザ A/H1N1」に関して、日本国政府による新型インフルエンザ認定と対策本部設置を受け、4月28日社内に社長を本部長とする新型インフルエンザ対策本部を設置しました。事務局連絡会議を通じて緊急連絡体制の再確認と休暇中の予定確認を行うとともに、海外渡航(出張・私的旅行)の自粛などについて指示しました。また、国内外の社員等の感染情報収集、マスク着用の励行や咳エチケット徹底などの感染予防措置に関する注意喚起や、対策備品の購入整備を実施しました。